

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70165	2007/11/ 29	70768	トリパノ ソーマ 症	ABC Newsletter 2007年9月14 日	AABBはCDCからAABBシャーガス病バイオシラシスネット ワーク強化をするための資金を受けている。2007年9月13日 現在、710名の反復反応性供血者がT. Cruzilに対する抗体 の追加RIPA試験を行った結果、196名がRIPA陽性、486名が 無反応で、残りは結果がまだ出ていない。13の検査所が シャーガスネットワークにデータを報告し、18の検査所が同 ネットワークにアクセスしている。	24
70143	2007/10/ 26	70679	トリパノ ソーマ 症	CMAJ 2007;177: 242	カナダ血液サービスは、2008年後半の血液製剤製造プロセ ス見直しの際に北緯49度以北では稀にしか見られない シャーガス病のスクリーニングを開始する。2種類のシャーガ ス病検査法がカナダ保健省の認可を待っている。供血血液 の検査実施は、血小板製剤の製造を「パフィーコート」法に 切替えてからとなる。メキシコや中南米では800万人～1,100 万人がシャーガス病の保因者であり、毎年45,000人以上死 亡している。カナダでは、これまでに輸血による感染が2例マ ニトバ州で発生した。	25
70112	2007/09/ 28	70553	トリパノ ソーマ 症	Reuters AlertNet 2007 年4月13日	WHOによると、感染の数十年後に死亡する可能性もある寄 生虫症、シャーガス病が、不適切な血液スクリーニングが原 因でラテンアメリカから米国やヨーロッパに拡大している。 WHOはバイエル社の支援を受けて、今や「地球規模の問題 」となったシャーガス病根絶のための事業を拡大してい る。シャーガス病に感染している人は900万人にこのぼると見 られ、その多くはラテンアメリカの農村部の子どもである。最 近では大規模な移民の影響で米国、スペインや他の欧州諸 国に広がっている。	
70112	2007/09/ 28	70553	トリパノ ソーマ 症	Transfusion 2007; 47: 540- 544	神経芽細胞腫(ステージ4)を発症した3歳半の女兒が複数 の血液成分製剤投与を受けた後、Trypanosoma cruzilによる シャーガス病と診断された。輸血された製剤の全供血者の 血液を再検査したところ、初回供血者1名がT. cruzil抗体陽 性であることが判明した。当該供血者は、ボリビア出身であ り、17年前に米国に移住した。移住後は母国に帰国していな い。本症例は、米国・カナダでの輸血によるシャーガス病感 染の7例目の報告である。シャーガス病スクリーニング検査 が必要であることを示している。	
70158	2007/11/ 21	70746	パルボ ウイルス	J Gen Virol 2007; 88: 2162-2167	ヒト血漿プール中に新規のパルボウイルスPARV4とその変 異株であるPARV5が存在することが最近示された。4株の PARV4と2株のPARV5のDNA配列を分析したところ、PARV5 はPARV4と同様に2つのオープンリーディングフレームを持 ち、PARV4とPARV5は92%近くのヌクレオチド相同性を示 した。両者は密接な関係のあるジェノタイプであり、ジェノタイ プ1と2(PRV5と呼ばれていたもの)から成るPARV4という1つ のウイルス名を使用することを提案する。	26
70107	2007/09/ 21	70537	パルボ ウイル ス	Transfusion 2007; 47: 883- 889	1993-1998年及び2001-2004年の間に製造された6つの第Ⅷ 因子濃縮剤の284ロットについて、in-house NAT法によりパ ルボウイルスB19 DNAを測定し、抗B19 IgGも併せて測定し た。その結果、B19 NAT非スクリーニング血漿から調製した 製剤のB19 DNAの陽性率及びレベルは高かったが、製造方 法が異なると、製品間で様々であった。血漿のB19 NATスク リーニングは、最終製品中のB19 DNAレベルを下げ、大半 の例で検出限界以下とさせ、B19伝播のリスクを減少させた 可能性がある。	